

# 9月定例市議会が23日に閉会しました

9月定例市議会は23日、本会議が開かれ、令和元年度沼田市一般会計及び特別会計7件の歳入歳出決算の認定、(仮称)沼田市武道場新築工事(建築工事)請負契約の締結などの採決がおこなわれ、閉会しました。

令和元年度沼田市一般会計及び特別会計7件の歳入歳出決算の認定について日本共産党議員団は、「幼児教育・保育の無償化」を4月から実施したことなどを評価しながら、保育の副食費が月5千円となったことは、所得の低い世帯には負担増となることや中心市街地土地区画整理事業の進捗率が44%で、いつ完了するのか目途が立たず、住宅の建て替えもままならないら人もいるなどの問題点を指摘し、高齢者などが気軽に安心して利用できる移動手段の確保、国保税を組合健保並みに引き下げることなどを求め、市民の願いにこたえる市政運営に努めることを要望し反対しました。

## 地域の防災力の強化し、安全な避難対策を

大東議員は一般質問で、地域の自主防災組織と市との連携をすすめ、地域の防災力を高めるとともに安全な避難ができるよう地域と一体となった取り組みをすすめるよう求めました。

市長は、「講座や防災訓練をおこない、地域防災力の向上に取り組んでいる」と答え、地域との連携については「沼田市防災訓練への積極的な参加を促し、地域との連携を図っている」と答えました。

大東議員は、地域の特徴を把握しながら地域と協議をし、早めの避難など対策をすすめるよう求めました。



## 日米地位協定の抜本的見直しを求める請願を採択

戦争させない利根沼田実行委員会が提出した「日米地位協定の抜本的見直しを求める意見書」の提出を求める請願は、総務文教常任委員会で採択され、23日の本会議でも全会一致で採択され、意見書が提出されました。

意見書では、「米軍基地から派生する様々な事件や事故等から国民の生命・財産と人権を守り、抜本的な解決のためには日米地位協定を抜本的見直しが必要がある」とし、日米地位協定を抜本的に見直すことを求めました。

## 市民と野党の共闘でアベ政治継承の菅政権を倒そう

高崎城址公園で19日、「戦争法強行5カ年抗議！ 9.19群馬大集会」が開かれ、日本共産党、立憲民主党、社民党の代表が、「市民と野党が力を合わせ、アベ政治を引き継ぐ菅政権を一日も早く終わらせよう」と訴えました。



集会には県内各地から350人が参加し、集会後は、高崎駅までデモ行進をおこないました。



## 続ぶらり散歩 めまた道 利根町あれこれ 特別編その八十

### 萩原賢和の文字塔

萩原賢和(けんな)は、江戸後期に利根沼田で「東入りに過ぎたるものが二つある。賢和の筆に園原騒動」とうたわれた書家で、生方鼎斎(ていさい)、高橋不可得(ふかとく)らとともに利根の三筆とよばれていました。



利根町には、萩原賢和が書いた石塔が根利、高戸谷の産土神社(写真上)、日影南郷の薬師堂(写真中段)にあります。



高戸谷の産土神社石塔は高さが約2丈、幅は約40センチの石に「道祖神」と彫られ、天保4年9月に建てられたものです。

日影南郷の薬師堂にある石塔には、「百八十八番供養」と正面に彫られています。

側面には、「先祖代々 爲菩提也」「天下太平 国土安全」と彫られており、裏面には萩賢和と名前が彫られ、建てられたのは寛政元年六月です。

### 小森の草地

小森の草地は、明治43年(1910)苗圃がつくられ、戦後には小森開拓地となり、現在は牧草地として活用されています。



栗原川林道(追貝側から)は通行止めとなっていますが、小森の草地までは車でいくことができます。



責任者である麻生財務大臣を続投させたことは、疑惑で問題を続発させた財務省の責任者である麻生財務大臣を続投させたことは、疑惑への居直りです。アベ政治にかわる新しい政治を実現することが必要です。

こんにはは 大東のぶゆき です  
こんにはは。安倍首相の辞任を受けて誕生した菅内閣は、麻生副総理・財務大臣など11人が閣内に残り、自民党役員人事でも二階幹事長が続投するなど安倍内閣の骨格がほとんど維持され、アベ政治を人事の面でも継承し、安倍首相のいない安倍内閣となりました。自民党の役員人事では、総裁選で菅氏を支持した派閥で占められ、「論功行賞」が前面に出た人事となり、総務会長に佐藤衆議院憲法調査会会長、政調会長に下村前自民党改憲推進本部長が就任するなど、「改憲ソフト」とも言える布陣がひかれました。コロナ対応で迷走した西村経済再生担当大臣を留任させたことは、コロナ対策で国民の願いにこたえようとしない姿を浮き彫りにし、「森友」疑惑で問題を続発させた財務省の責任者である麻生財務大臣を続投させたことは、疑惑への居直りです。アベ政治にかわる新しい政治を実現することが必要です。